

Translation of Japanese laid-open utility model publication

No.61-120111

COMBINATION LAMP FOR CAR

What is claimed is:

(1) A combination lamp for a car, the lamp having a body where integral or substantially integral lamp chambers open substantially at the front are provided in a row, a front lens disposed to cover the openings of the lamp chambers, and a bulb disposed in each of the lamp chambers, an outer surface of the body except a rear portion of each of the lamp chambers or a plug mounting hole portion of the each lamp chamber being adapted to be covered with part of a car body when the lamp is mounted on the car body, characterized in that a double-seal rib portion is provided at part of each seal rib formed on the outer surface of the body so as to cover the rear portion of the each lamp chamber or the plug mounting hole portion of the each lamp chamber and project toward the car body; a notch is formed in a partition wall or a rib wall of the double-seal rib portion so as to have the inside and outside of the double-seal rib portion communicating with each other; and a cord for connection to a predetermined lamp chamber is disposed to be held in the notch.

(2) The combination lamp for a car according to claim 1, characterized in that the notch is formed to be somewhat narrower than the outer diameter of the cord and to have a knife edge at the inner edge thereof.

(3) The combination lamp for a car according to claim 1, characterized in that a sealing material is filled in the double-seal rib portion after the cord is disposed in the notch.

公開実用 昭和61-120111

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-120111

⑮ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和61年(1986)7月29日

F 21 Q 1/00
F 21 V 23/00

6908-3K
A-6529-3K

審査請求 未請求 (全頁)

⑰ 考案の名称 自動車用コンビネーションランプ

⑱ 実 願 昭60-3552

⑲ 出 願 昭60(1985)1月17日

⑳ 考 案 者 有 馬 義 春 清水市北脇500番地 株式会社小糸製作所内
㉑ 出 願 人 株式会社小糸製作所 東京都港区高輪4丁目8番3号
㉒ 代 理 人 弁理士 前田 和男

明 細 書

1. 考案の名称

自動車用コンビネーションランプ

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 概ね前方へ開口する複数の灯室が一体又は一体的に連設されたボディと、これ等灯室の開口を覆うべく配置される前面レンズと、各灯室内に配置されるバルブを具備し、取付時にはボディの外面が各灯室の後部又は各灯室のプラグ取付孔部を除いて車体の一部によって覆われるようになっている自動車用コンビネーションランプにおいて、灯室後部又は各灯室のプラグ取付孔部を圍繞し、車体側へ突出すべくボディの外面に形成された各シールリップの一部に2重シールリップ部を設け、この2重シールリップ部の隔壁又はリップ壁にこの2重シールリップ部の内外を連通させる切欠を刻設し、この切欠内に所定の灯室への接続用のコードを配線固定したことを特徴とする自動車用コンビネーションランプ。

(2) 切欠の切欠巾をコードの外径よりもやや狭

小に刻設し、その内縁にはナイフエッジを形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の自動車用コンビネーションランプ。

(3) 切欠内にコードを配線した後2重シールリブ部内にシール材を充填したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の自動車用コンビネーションランプ。

3. 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

この考案は、取付時にその後部が車体の一部によって覆われる灯室に装着するプラグの仮置きを必要としない自動車用コンビネーションランプに関するものである。

従来の技術

概ね前方へ開口する複数の灯室が一体又は一体的に連設されたボディと、これ等の灯室の開口を覆うべく配置される前面レンズと、各灯室内に配置されるバルブを具備する自動車用コンビネーションランプにおいては、通常前面レンズの一侧に車体の側方へ回り込むレンズ部分が形成されてお

り、この部分が所謂ターンシグナルランプとして機能するように構成されている。第7図及び第8図は、このような自動車用コンビネーションランプの従来例を示すものであり、取付時にはボディ1の外面が、前面レンズ2の車体の側方へ回り込むレンズ部分2'に対応する灯室3aの後部側については単独で、また他の灯室3bの後部側については共通で車体の一部4によって覆われ、前者についてはそのプラグ取付孔5部分において、また後者については灯室3bの後部が夫々対向する車体側の透孔6を介して車体内と連通している。このボディ1における車体の一部4による被覆部は、ボディ1の外面側に灯室3aのプラグ取付孔5部又は灯室3b後部を夫々囲繞し、車体側へ突出するシールリブ7を形設し、ガスケット8を介在させてその突出端を車体側の端面に当接させることによりシールされるようになっている。また灯室3aに配置すべきバルブ9aを装着するプラグ10aは、他の灯室3bに関する配線をまとめた部分とボディ1外においてコード11を用いて

接続されており、車体の内側から車体側の透孔 6 を介してプラグ取付孔 5 に着脱自在に装着されている。したがってこのプラグ 10 a は、車体への取付前においては、その接続用のコード 11 がその搬送、取付作業等の障害とならぬように灯室 3 b の後部側に配置され、これ等灯室 3 b 内に配置すべきバルブ 9 b が装着されるプラグ 10 b を固定するためのバックカバー 12 上に形成した仮止め部 13 に着脱自在に仮置きされている。

考案が解決しようとする問題点

このように構成された従来の自動車用コンビネーションランプは、通常灯室 3 a に装着すべきプラグ 10 a をバックカバー 12 上の仮止め部 13 に仮置きした状態で出荷され、得意先の車両製造ラインの中で灯室 3 a 側に対するプラグ 10 a の組み付け作業を行わなければならない、得意先に対し特別な負担を強いるばかりでなく、組み付け作業に際して作業手順の誤認による不完全組付けや器具の破損事故を誘引する原因となっていた。

この考案は、上記の問題を解決すべく創案され

たものであり、その目的とするところは、プラグの仮置きを必要としない自動車用コンビネーションランプを提供することにある。

問題点を解決するための手段

この考案は、第1図乃至第6図に示すように、概ね前方へ開口する複数の灯室23a、23bが一体又は一体的に連設されたボディ21と、これ等灯室23a、23bの開口を覆うべく配置される前面レンズ22と、各灯室23a、23b内に配置されるバルブ29a、29bを具備し、取付時にはボディ21の外面が各灯室23a、23bの後部又は所定の灯室23aのプラグ取付孔25部を除いて車体の一部24によって覆われるようになっている自動車用コンビネーションランプにおいて、

(1) 灯室23a、23b後部又は各灯室23a、23bのプラグ取付孔25部を囲繞し、車体側へ突出すべくボディ11の外面に形成された各シールリップ27の相互に隣接する一部に2重シールリップ部33を設ける。

(2) この2重シールリップ部33の隔壁32又はリップ壁にこの2重シールリップ部33の内外を連通させる切欠34を刻設する。

(3) この切欠34内に所定の灯室23aに対する接続用のコード31を配線し、2重シールリップ部33に内に抜止め固定する。

という技術手段を講じている。

作用

車体への取付位置や車体側の構造を変えることなく、取付時に車体の一部24によって後方を覆われる所定の灯室23aにも予めプラグ30aを装着し、その接続用のコード31をボディ21の外面に配線固定させておくことができ、出荷後におけるプラグ30aの組み付け作業を必要としない。

実施例

以下図面に示した実施例に基づいてこの考案の好適な実施例を説明する。

第1図乃至第4図において、21は、概ね前方へ開口する複数の灯室を一体又は一体的に連設し

て成るボディ、22はこのボディ21に固設され、灯室の開口を覆う前面レンズであり、車体への取付時にはボディ21の外面が、前面レンズ22の車体の側方へ回り込むレンズ部分22'に対応する灯室23aの後部側については単独で、また他の灯室23bの後部側については必要により共通で車体の一部24によって覆われ、前者についてはそのプラグ取付孔25部分において、また後者については灯室23bの後部が夫々対向する車体側の透孔26を介して車体内と連通している。

27は、ボディ21の外側面に、灯室23a側についてはそのプラグ取付孔25部を、また灯室23b側についてはその後部を夫々囲繞し、車体側へ突出すべく形設されたシールリブであり、その突出端をガスケット28を介して車体側の端面に当接させることにより車体の一部24によるボディ21は被覆部をシールしている。29a、29bは、灯室23a、23b内に配置すべきバルブ、30a、30bは、バルブ29a、29bを装着するプラグである。

上記シールリブ27の相互に隣接する一部に、夫々1又は2以上の隔壁32で支持された2重シールリブ部33を設け、かつこの2重シールリブ部33の隔壁32にこの2重シールリブ部33の内外を連通させる切欠34を刻設する。この切欠34の切欠巾は、その内側に配線固定されるべき接続用のコード31の外径よりもやや狭小なものとし、その内縁にはコード31の拔出を防止するナイフエッジ34'を形設する。他の灯室23b側に関する配線をまとめた部分とボディ21外において接続される灯室23a側への接続用のコード31は、上記のように相互に隣接して形設された両2重シールリブ部33の切欠34内に配線される。

第5図及び第6図は、2重シールリブ部33に関する他の実施例を示すものであり、各シールリブ27Aの相互に隣接し、かつ対向する一部に夫々2重シールリブ部33Aを形設し、夫々のリブ壁には対向側へ向って2重シールリブ部33Aの円外を連通させる切欠34Aを刻設し、この両

2重シールリップ部33Aの切欠34A内に接続用のコード31Aを挿通させた後、両2重シールリップ部33A内にシール材35を充填し、コード31Aの脱落を防止したものである。

このように構成すると2重シールリップ部33Aを小さく形成することができると共に、切欠34Aに関する特別な金型を必要とせず、成形が容易となる。

考案の効果

この考案は、以上説明したようにボディの外側に形設されたシールリップの一部に2重シールリップ部を設け、この2重シールリップ部の隔壁又はリップ壁に形成された切欠内に接続用のコードを配線固定する構造としたため、従来必要とされていたプラグの仮置き構造を廃止し、プラグやプラグに接続するコードをボディに完全に組み付けた状態で出荷し、したがって出荷後における余分な手間を省くことができる等実用上の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

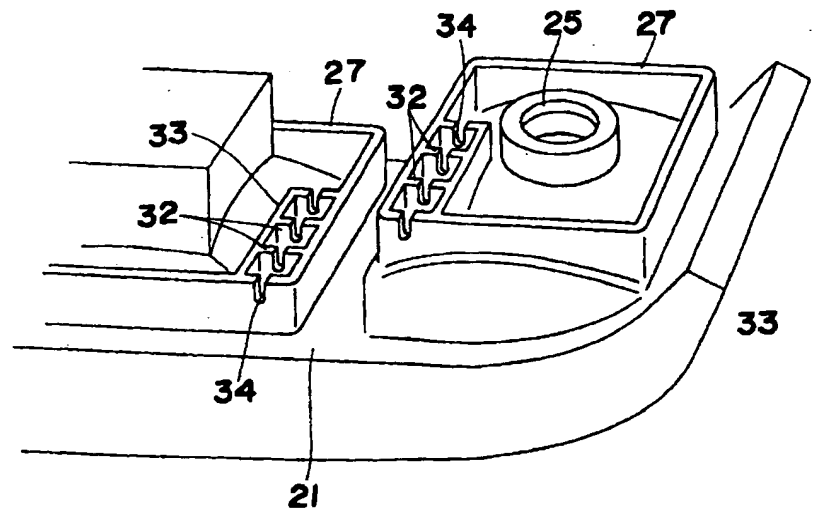
第1図はこの考案に係る自動車用コンビネーション

ョンランプの実施例を示す部分斜視図、第2図は同じく2重シールリップ部の切欠の構造を示すものであり、(イ)は側面図、(ロ)は平面図、第3図は同じく2重シールリップ部に対する配線の状態を示す斜視図、第4図は同じく自動車用コンビネーションランプの断面図、第5図は2重シールリップ部に関する他の実施例を示す斜視図、第6図は同じく要部断面図、第7図は従来例の出荷時の状態を示す断面図、第8図は同じく取付時の状態を示す断面図である。

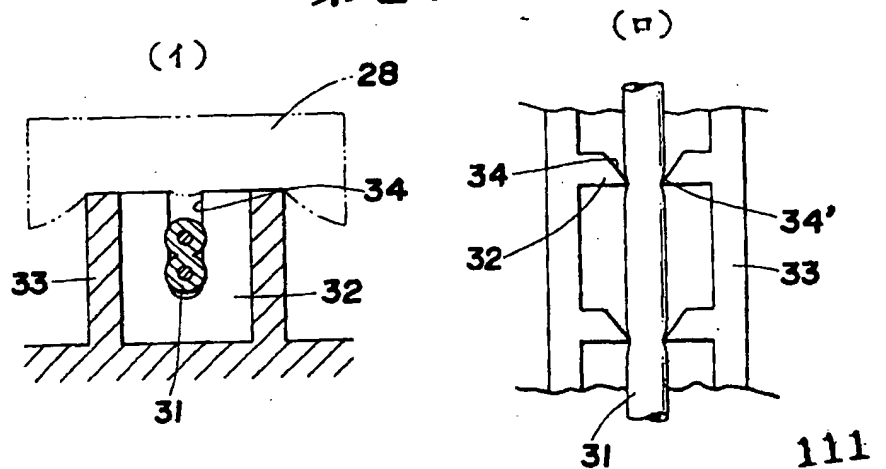
- 21・・・ボディ 22・・・前面レンズ
- 23a, 23b・・・灯室
- 24・・・車体の一部
- 25・・・プラグ取付孔
- 27, 27A・・・シールリップ
- 31, 31A・・・接続用のコード
- 32・・・隔壁
- 33, 33A・・・2重シールリップ部
- 34, 34A・・・切欠
- 34'・・・ナイフエッジ 35・・・シール材

第1図

- 21... ボディ
- 25... フラグ取付孔
- 27... シールリブ
- 32... 隔壁
- 33... 2重シールリブ
- 34... 切欠
- 34'... ナイフエッジ
- 35... シール枚



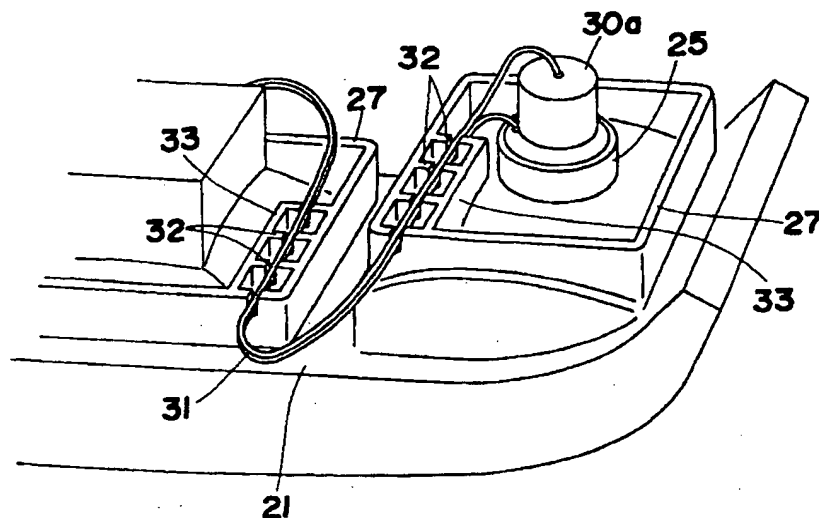
第2図



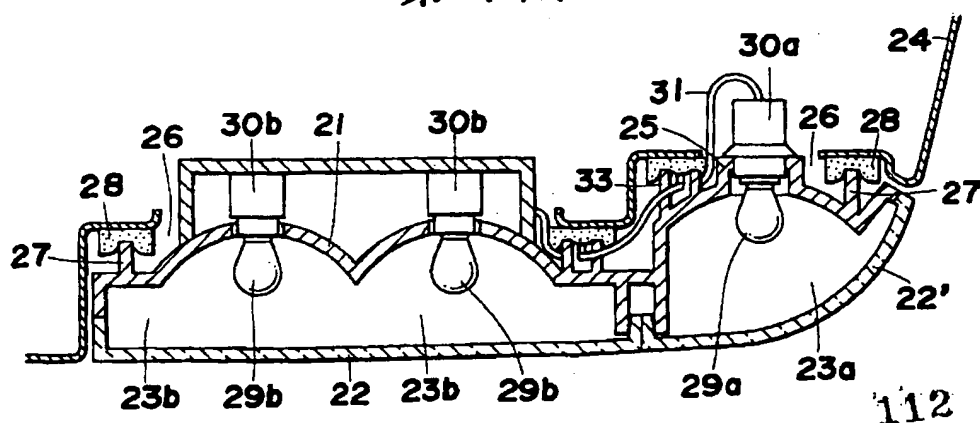
実開 61-12011

発明者 株式会社小糸製作所
代理人 弁理士 前田 和男

第3図



第4図

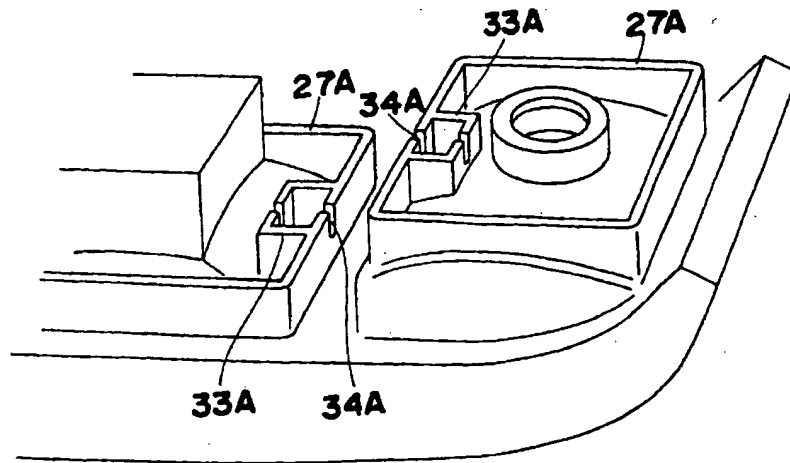


BEST AVAILABLE COPY

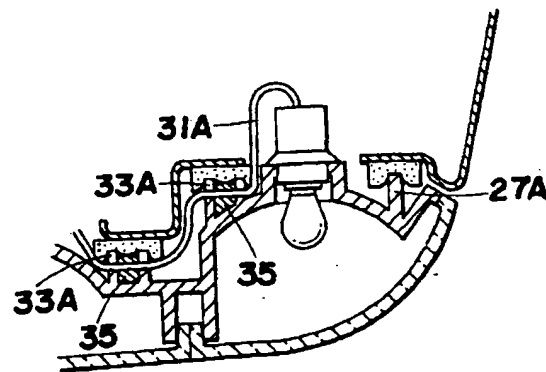
実開61-120111

実用新案登録出願人 株式会社小糸製作所
代理人 弁理士 前田 和男

第 5 図



第 6 図



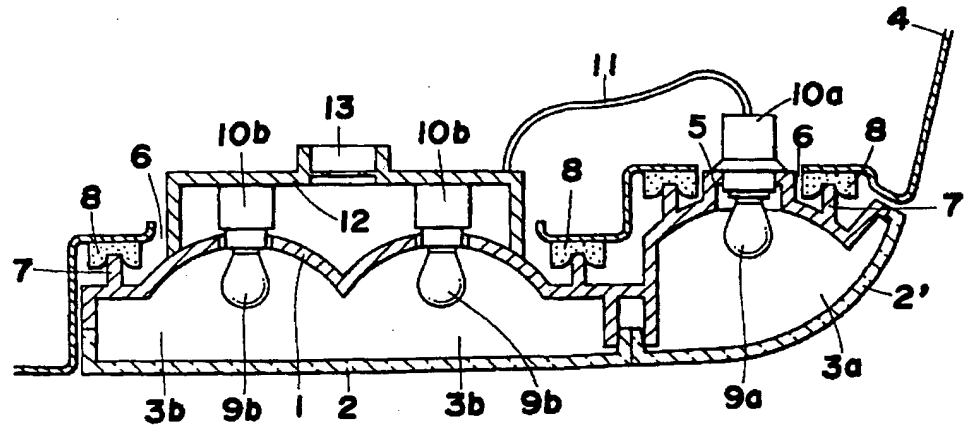
113

実開 61-120111

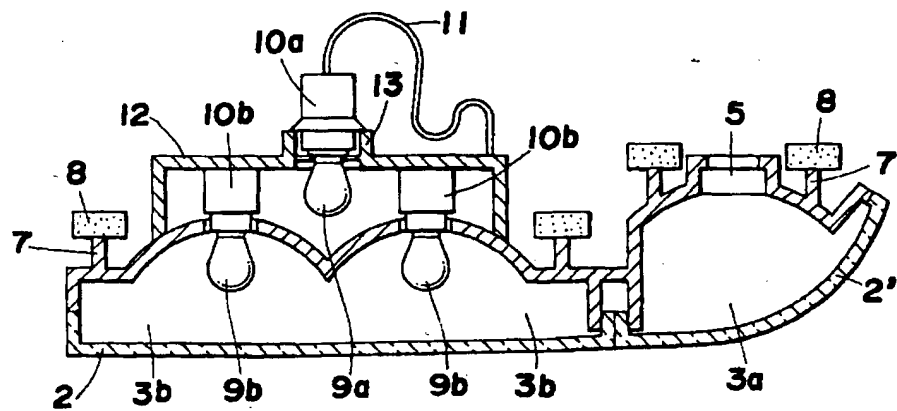
実用新案登録出願人 株式会社小糸製作所
代理人 弁理士 前田 和 男

BEST AVAILABLE COPY

第7図



第8図



114

実用61-120111

実用新案登録出願人 株式会社小糸製作所
代理人 弁理士 前田和男